



2018年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年10月31日

上場会社名 株式会社電通国際情報サービス
 コード番号 4812 URL <https://www.isid.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 釜井 節生
 (氏名) 酒井 次郎
 TEL 03-6713-6160

(百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第3四半期の連結業績(2018年1月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第3四半期	64,625	9.1	5,662	70.7	5,675	65.5	3,788	37.3
2017年12月期第3四半期	59,225	2.5	3,316	24.5	3,428	25.6	2,759	14.0

(注) 包括利益 2018年12月期第3四半期 3,669百万円 (30.2%) 2017年12月期第3四半期 2,817百万円 (9.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第3四半期	116.28	
2017年12月期第3四半期	84.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年12月期第3四半期	77,298	49,666	64.2
2017年12月期	72,003	47,800	66.3

(参考) 自己資本 2018年12月期第3四半期 49,638百万円 2017年12月期 47,771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期		25.00		27.00	52.00
2018年12月期		28.00			
2018年12月期(予想)				28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年12月期の連結業績予想(2018年1月1日～2018年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	5.5	7,000	27.5	7,034	24.7	4,807	8.3	147.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年12月期3Q	32,591,240 株	2017年12月期	32,591,240 株
期末自己株式数	2018年12月期3Q	8,623 株	2017年12月期	8,470 株
期中平均株式数(四半期累計)	2018年12月期3Q	32,582,656 株	2017年12月期3Q	32,582,770 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

単位：百万円

	2017年12月期 第3四半期累計	2018年12月期 第3四半期累計	増減	前年同期比
売上高	59,225	64,625	+5,400	109.1%
営業利益	3,316	5,662	+2,346	170.7%
営業利益率	5.6%	8.8%	+3.2p	—
経常利益	3,428	5,675	+2,247	165.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,759	3,788	+1,029	137.3%

当第3四半期連結累計期間(2018年1月1日～2018年9月30日)におけるわが国経済は、原材料価格の上昇や米国の通商政策への警戒感の高まり等から先行きに不透明感はあるものの、企業収益や雇用情勢の改善、個人消費の持ち直し等を背景に景気は緩やかな回復が継続しました。情報サービス産業におきましても、企業の情報化投資への需要が高まる中、概ね良好な事業環境が継続しました。

かかる状況の下、当社グループは、ソリューションの差別化ならびに業績の拡大を目指し、2016年度からの3ヵ年を対象とした中期経営計画「ISID Open Innovation 2018『価値協創』」を推進しております。計画最終年度となる当連結会計年度は、「Society5.0の実装・実現に向けて」を新たな行動ビジョンとして掲げ、当社グループにとって過去最高となる売上高880億円、営業利益70億円の達成、ならびに中期経営計画目標に掲げた営業利益率8.0%の実現を目指しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、当社グループが展開する4つの事業セグメントのうち、金融ソリューション、エンジニアリングソリューションならびにコミュニケーションITが好調に推移したことにより、前年同期比増収の64,625百万円(前年同期比109.1%)となりました。

利益面では、増収による効果に加え、前年同期に減益要因となった不採算案件の影響が解消したことにより、営業利益は5,662百万円(同170.7%)、経常利益は5,675百万円(同165.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,788百万円(同137.3%)といずれも前年同期比で大幅な増益となりました。

事業セグメント別の売上高、営業利益および営業の状況は以下のとおりです。

■事業セグメント別売上高および営業利益

単位：百万円

事業セグメント	2017年12月期 第3四半期累計			2018年12月期 第3四半期累計			増減額	
	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益
金融ソリューション	15,165	996	6.6%	16,330	1,233	7.6%	+1,165	+237
ビジネスソリューション	12,810	115	0.9%	11,732	356	3.0%	△1,078	+241
エンジニアリング ソリューション	18,650	799	4.3%	21,645	1,873	8.7%	+2,995	+1,074
コミュニケーションIT	12,598	1,405	11.2%	14,916	2,198	14.7%	+2,318	+793
合計	59,225	3,316	5.6%	64,625	5,662	8.8%	+5,400	+2,346

■事業セグメント別営業の状況

金融ソリューション

金融機関の各種業務を支援するITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、主要顧客に加え、新規に獲得した政府系金融機関ならびに事業会社向けのシステム開発売上が拡大したことから、売上高は増収となりました。利益面につきましても、増収に伴い増益となりました。

ビジネスソリューション

基幹システムや経営管理分野を対象としたITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、人事管理ソリューション「POSITIVE」等のソフトウェア製品販売が堅調に推移したものの、受託システム開発ならびにソフトウェア商品の大型案件終了に伴う反動減の影響により、売上高は減収となりました。一方、利益面につきましては、前年同期に減益要因となった不採算案件の影響が解消したことから、増益となりました。

エンジニアリングソリューション

製造業の製品開発・製造分野を対象としたITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、3次元CADシステム「NX」ならびに製品ライフサイクル管理（PLM）ソリューション「Teamcenter」を中心としたソフトウェア商品販売が、電機・精密業界向けを中心に拡大しました。加えて、自動車業界向けには、スマートファクトリー領域のソフトウェア商品販売やコンサルティングサービスも好調に推移したことから、売上高は増収となりました。利益面につきましても、増収に伴い増益となりました。

コミュニケーションIT

電通グループに対する基幹システムの提供、ならびに電通グループとの協業によるITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、電通グループ向けのシステム開発ならびにアウトソーシング・運用保守等が拡大しました。また、電通グループとの協業によるビジネスも好調に推移したことから、売上高は増収となりました。利益面につきましても、増収に伴い増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産の部は、売上債権が減少したものの、主として前渡金、仕掛品や預け金の増加により流動資産が3,513百万円増加しました。また、有形固定資産や投資有価証券の増加等により固定資産についても1,782百万円増加した結果、前連結会計年度末の72,003百万円から5,295百万円増加し、77,298百万円となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債の部は、未払費用や前受金等の増加により流動負債が3,069百万円増加したことに加えて、リース債務の増加等により固定負債も360百万円増加した結果、前連結会計年度末の24,203百万円から3,429百万円増加し、27,632百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の部は、その他の包括利益累計額が減少した一方、利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末の47,800百万円から1,865百万円増加し、49,666百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、2018年2月9日に発表した予想から変更はございません。

※予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,369	2,877
受取手形及び売掛金	18,706	17,078
商品及び製品	107	390
仕掛品	1,318	2,535
原材料及び貯蔵品	21	29
前渡金	6,548	9,655
預け金	27,276	27,962
その他	1,964	2,296
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	59,311	62,824
固定資産		
有形固定資産	3,243	4,099
無形固定資産	2,849	2,961
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,599	7,414
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	6,598	7,413
固定資産合計	12,692	14,474
資産合計	72,003	77,298
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,086	6,665
未払法人税等	1,326	1,521
前受金	7,790	8,974
受注損失引当金	622	520
その他	6,124	7,337
流動負債合計	21,950	25,019
固定負債		
退職給付に係る負債	15	22
資産除去債務	895	897
その他	1,341	1,693
固定負債合計	2,252	2,612
負債合計	24,203	27,632

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,285	15,285
利益剰余金	23,897	25,893
自己株式	△29	△29
株主資本合計	47,334	49,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96	69
為替換算調整勘定	340	238
その他の包括利益累計額合計	436	307
非支配株主持分	28	27
純資産合計	47,800	49,666
負債純資産合計	72,003	77,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)
売上高	59,225	64,625
売上原価	40,891	43,287
売上総利益	18,333	21,337
販売費及び一般管理費	15,016	15,675
営業利益	3,316	5,662
営業外収益		
受取利息及び配当金	27	33
投資有価証券売却益	55	—
保険配当金	42	48
助成金収入	29	18
雑収入	13	40
営業外収益合計	168	141
営業外費用		
支払利息	12	17
持分法による投資損失	2	21
為替差損	18	35
投資事業組合運用損	17	31
雑損失	5	21
営業外費用合計	56	128
経常利益	3,428	5,675
特別利益		
固定資産売却益	657	—
特別利益合計	657	—
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	152	—
特別損失合計	152	—
税金等調整前四半期純利益	3,933	5,675
法人税、住民税及び事業税	1,676	2,452
法人税等調整額	△511	△575
法人税等合計	1,164	1,876
四半期純利益	2,768	3,798
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,759	3,788

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	2,768	3,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	△27
為替換算調整勘定	22	△102
その他の包括利益合計	49	△129
四半期包括利益	2,817	3,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,808	3,659
非支配株主に係る四半期包括利益	9	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年1月1日至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	エンジニア リング ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	15,165	12,810	18,650	12,598	59,225
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,165	12,810	18,650	12,598	59,225
セグメント利益	996	115	799	1,405	3,316

(注)セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	エンジニア リング ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	16,330	11,732	21,645	14,916	64,625
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,330	11,732	21,645	14,916	64,625
セグメント利益	1,233	356	1,873	2,198	5,662

(注)セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)における生産実績を事業セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業セグメント	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
金融ソリューション	12,522	107.7
ビジネスソリューション	7,035	91.8
エンジニアリングソリューション	4,595	116.6
コミュニケーションIT	6,039	112.3
合計	30,192	105.5

- (注) 1. 金額は、販売価格に換算して表示しております。
2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)における受注状況を事業セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業セグメント	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
金融ソリューション	23,173	146.6	12,058	207.9
ビジネスソリューション	12,207	102.0	6,470	116.3
エンジニアリングソリューション	24,426	116.4	11,217	118.9
コミュニケーションIT	16,220	106.3	5,785	104.5
合計	76,027	118.8	35,531	134.9

- (注) 1. 2018年12月期より全サービス品目を対象とした数値に記載を変更しております。
2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年9月30日)における販売実績を事業セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業セグメント	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
金融ソリューション	16,330	107.7
ビジネスソリューション	11,732	91.6
エンジニアリングソリューション	21,645	116.1
コミュニケーションIT	14,916	118.4
合計	64,625	109.1

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、以下のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
株式会社電通及び そのグループ会社	10,245	17.3	12,485	19.3